



中央本部見解が発出される!

新生JR東労組運動と12地本の団結を破壊する 「真実の声」を許さない中央本部見解

JR総連・JR東労組の大会で組織破壊と確認された「JR東労組を憂う会」結成主旨の抜粋を掲載し、2018年6月10日「真実の声」がインターネット上にアップされた。

「真実の声」では、投稿者が匿名であることをいいことに、数々の嘘を並べ、中央本部を「残留執行部」と罵り、新生JR東労組運動を推し進める中央本部や地方本部に対し嘘で塗り固めた批判を投げつけている。

この「真実の声」は、組織を強化・拡大するために、12地本が団結し、信頼を回復しようとする新生JR東労組運動を破壊する以外の何物でもない。さらに言えば、個人を特定しての誹謗中傷はもはや犯罪行為である。

中央執行委員会はこの「真実の声」を「JR東労組を憂う会」と同質であり、組織破壊と断定した。この「真実の声」に悪意を持って携わる者たちを断じて許さない決意である。

「真実の声」に掲載された内容は、不特定多数が閲覧できるインターネットにおいて、組織内部でしか知り得ない情報を元に一部を切り取り捏造し、匿名で掲載している。特に、水戸地方本部や東京地方本部の役員と中央本部役職員との電話等のやりとりが、事実を捻じ曲げて掲載されていることは看過できるものではない。この行為は組織破壊を目論む者たちに棹さすものであり、中央本部と地方本部の間に不信感をもたらす組織破壊である。

よって中央本部は、この「真実の声」の投稿者並びに情報提供者に対して、規約第60条(制裁)に該当し制裁申請に値することを明確にしておく。

また、「真実の声」は元中央執行委員から八王子地方本部経由で他地方本部のレールクラブに拡散依頼がされているという事実がJR東労組第36回定期大会の中で発言され、調査することを組織決定した。

中央本部は、6月から今日に至るまで八王子地方本部に調査を依頼し、幾度となく報告を求めたが、「連絡が取れない」と一切調査の進展がないことも記しておく。

新生JR東労組運動を推し進め、12地本の団結をつくり出す為に、中央本部は機関決定として全地方本部がこの組織破壊行為に対し見解を発出することを指令する。

中央本部は、あらゆる組織破壊を許さず、全組合員と共に12地本の団結をもって、新生JR東労組運動をつくり出す決意である。

2018年 11月1日
東日本旅客鉄道労働組合
臨時第9回中央執行委員会

**組織破壊を許さず、各級機関で
本部見解の読み合わせを行おう!**